

平成20年国土交通省告示第283号 一部改正に伴う技術情報

本資料は告示第283号一部改正に伴う技術情報を記載しています。

当社製品の定期法定検査時に必要な項目に対し、当社が定めた判定基準を記載したものです。

当社が供給または指定していない機器、部品または改造に起因した事故や不具合について、
不適切な法定検査をおこなった場合、一切責任を負いません。

下記内容を同意の上、ご利用ください

- ・法定検査目的以外に使用しない。
- ・法定検査の関係者以外の方に開示しない。
- ・検査者は検査実施前に必ず本資料を読み、注意事項や検査基準を守ること。
- ・法定検査前には必ず最新の情報を当社ホームページより確認すること。
- ・本資料の内容は予告無しに更新される場合があります。

本件についての問い合わせ先

株式会社エレベータシステムズ 品質保証部

03-3982-7750

ホームページ www.elevator.co.jp

1、電動機主回路用及びブレーキ用接触器の接点の状況

- ① 電動機主回路用接触器の接点の状況を確認してください。
著しい摩耗に該当しないか、定期検査業務基準書の判定基準に従って確認してください。
- ② 電動機主回路用接触器のフェールセーフ設計に該当又は非該当は下記の表1-1で確認ください。
- ③ 電動機主回路用接触器の交換基準は下記の表1-1で確認ください。

制御盤機種		UCMP	フェール セーフ設計	電動機主回路用接触器	
				接触器社内名称	交換基準 (いずれか先に到達した時)
SE-328	ロープ式	無	非該当	EM	200万回または10年
	油圧式	無	非該当	MCD、MCY	200万回または10年
SICON-C II	ロープ式	無	非該当	EM	200万回または10年
	油圧式	無	非該当	MCD、MCY	200万回または10年
SICON-2000	ロープ式	無	非該当	EM	200万回または10年
	油圧式	無	非該当	MCD、MCY	200万回または10年
SICON-2001	ロープ式	有	該当	EM、MGM	設定無し
		無	非該当	EM	200万回または10年
SICON-2001H	油圧式	有	該当	S、MCM、MCD、MCY	設定無し
		無	非該当	MCD、MCY	200万回または10年
SICON-4000Jzi	ロープ式	有	該当	EM、MGM	設定無し
		無	非該当	EM、MGM	200万回または10年
PLC	ロープ式	有	該当	S1、S2	設定無し
		無	非該当	MC	200万回または10年
	油圧式	有	該当	S1、MDP、MDD、MDS	設定無し
		無	非該当	MCP、MCD、MCY	200万回または10年
ホームEV-LG	油圧式	無	非該当	MC、#5D	200万回または10年
ホームEV-EF	ロープ式	無	非該当	MC	200万回または10年

表1-1

- ① ブレーキ用接触器の接点の状況を確認してください。
著しい摩耗に該当しないか、定期検査業務基準書の判定基準に従って確認してください。
- ② ブレーキ用接触器のフェールセーフ設計に該当又は非該当は下記の表1-2で確認ください。
- ③ ブレーキ用接触器の交換基準は下記の表1-2で確認ください。

制御盤機種		UCMP	フェールセーフ設計	ブレーキ用接触器	
				接触器社内名称	交換基準 (いずれか先に到達した時)
SE-328	ロープ式	無	非該当	BKM	50万回または10年
SICON-C II	ロープ式	無	非該当	BKM	50万回または10年
SICON-2000	ロープ式	無	非該当	BKM	50万回または10年
SICON-2001	ロープ式	有	該当	S、BKM	設定無し
		無	非該当※1	S、BKM BKR、BKR1、BKR2	交流遮断 100万回または10年 直流遮断 50万回または10年
SICON-4000Jzi	ロープ式	有	該当	S、SX、BKM	設定無し
		有	該当	SX、BKM	設定無し
PLC	ロープ式	有	該当	BR、BD、BD1、BD2	設定無し
		無	非該当	BR、BD	交流遮断 100万回または10年 直流遮断 50万回または10年
ホームEV-EF	ロープ式	無	非該当	BR	50万回または10年
				BK	100万回または10年

表1-2

- ※1 Breke Watchを有効に設定するとフェールセーフ設計に該当します。
- ※2 フェールセーフ設計に該当する場合は、交換基準を設けておりません。
- ※3 接点の状態を目視で確認できない接触器は、交換してください。
- ※4 設置の年代によって接触器の名称が異なる場合があります。該当する接触器を検査してください。

2、綱車の摩耗

- ① 綱車と主索のかかりは、技術資料-巻上機検査基準を参照し、判定をおこなってください。
- ② 複数の溝間の摩耗差の状況は、技術資料-巻上機検査基準を参照し、判定をおこなってください。

3、ブレーキのプランジャーストローク

- ① プランジャーが他の機器等と干渉していないか確認してください。
- ② プランジャーが摩耗したと考えられる摩耗粉がないか確認してください。
- ③ 下記の表3-1に記載しています巻上機のブレーキは、要改善ブレーキに該当しません。
技術資料-巻上機検査基準を参照し、確認をおこなってください。

巻上機型式	プランジャーストローク 検査判定	確認項目
KTM-23	構造上対象外	パッドの厚さを測定し基準値内であることを確認
KTM-28	構造上対象外	パッドの厚さを測定し基準値内であることを確認
KTM-36	構造上対象外	パッドの厚さを測定し基準値内であることを確認
KTM-45	構造上対象外	パッドの厚さを測定し基準値内であることを確認
KTM-55	構造上対象外	パッドの厚さを測定し基準値内であることを確認
KTM-60	構造上対象外	パッドの厚さを測定し基準値内であることを確認
KTM-75	構造上対象外	パッドの厚さを測定し基準値内であることを確認
KTM-85	構造上対象外	パッドの厚さを測定し基準値内であることを確認
KTM-130	構造上対象外	パッドの厚さを測定し基準値内であることを確認
KTM-165	構造上対象外	パッドの厚さを測定し基準値内であることを確認
KTM-190	構造上対象外	パッドの厚さを測定し基準値内であることを確認
KAV-40H	構造上対象外	パッドの厚さを測定し基準値内であることを確認
KAV-50H	構造上対象外	パッドの厚さを測定し基準値内であることを確認
KAV-80H	構造上対象外	パッドの厚さを測定し基準値内であることを確認
SSE-450ES1	構造上対象外	パッドの厚さを測定し基準値内であることを確認
SSE-450EL1	構造上対象外	パッドの厚さを測定し基準値内であることを確認
ZR3K-ZFPS	構造上対象外	パッドの厚さを測定し基準値内であることを確認
ZR5K-ZFPS	構造上対象外	パッドの厚さを測定し基準値内であることを確認

表3-1

- ③-1 下記の表3-2、3-2-1に記載しています巻上機のブレーキは、要改善ブレーキに該当しません。引きずり防止の措置を有するブレーキに該当します。下記の検査項目で検査してください。

巻上機型式	プランジャーストローク 検査判定	検査項目
KPM-20L	構造上対象外	ブレーキスイッチが正常に作動していることを確認
KPM-30L	構造上対象外	ブレーキスイッチが正常に作動していることを確認
SSE-450ES3	構造上対象外	ブレーキスイッチが正常に作動していることを確認
SSE-450EL3	構造上対象外	ブレーキスイッチが正常に作動していることを確認
SSE-200ES	構造上対象外	ブレーキスイッチが正常に作動していることを確認
SSE-200EL	構造上対象外	ブレーキスイッチが正常に作動していることを確認
SSE-250ES	構造上対象外	ブレーキスイッチが正常に作動していることを確認
SSE-250EL	構造上対象外	ブレーキスイッチが正常に作動していることを確認
SGR20	構造上対象外	ブレーキスイッチが正常に作動していることを確認
SGR30	構造上対象外	ブレーキスイッチが正常に作動していることを確認
SGR40	構造上対象外	ブレーキスイッチが正常に作動していることを確認
SGR50	構造上対象外	ブレーキスイッチが正常に作動していることを確認
WIN3000	構造上対象外	ブレーキスイッチが正常に作動していることを確認
WIN5000	構造上対象外	ブレーキスイッチが正常に作動していることを確認
MR-D600	構造上対象外	ブレーキスイッチが正常に作動していることを確認
MR-D1000	構造上対象外	ブレーキスイッチが正常に作動していることを確認
キレイ1600A	構造上対象外	ブレーキスイッチが正常に作動していることを確認
キレイ2000B	構造上対象外	ブレーキスイッチが正常に作動していることを確認
キレイ2500B	構造上対象外	ブレーキスイッチが正常に作動していることを確認
BW1491	構造上対象外	ブレーキスイッチが正常に作動していることを確認
BW1497	構造上対象外	ブレーキスイッチが正常に作動していることを確認
WYJ250	構造上対象外	ブレーキスイッチが正常に作動していることを確認

表3-2

※引きずり防止の措置として、ブレーキスイッチ機能が有効に動作しているかを確認してください。ブレーキスイッチが作動しているときは、ブレーキライニングとブレーキドラムに隙間があり確実にブレーキが開放していることを確認してください。

巻上機型式	プランジャーストローク 検査判定	検査項目
SKE-450F2	構造上対象外	ブレーキスイッチが正常に作動していることを確認
SKE-600F2	構造上対象外	ブレーキスイッチが正常に作動していることを確認
SKE-800F2	構造上対象外	ブレーキスイッチが正常に作動していることを確認
SKE-950F2	構造上対象外	ブレーキスイッチが正常に作動していることを確認
SHR-2000A	構造上対象外	ブレーキスイッチが正常に作動していることを確認
SHR-4000A	構造上対象外	ブレーキスイッチが正常に作動していることを確認
SHR-6000A	構造上対象外	ブレーキスイッチが正常に作動していることを確認

表3-2-1

※引きずり防止の措置として、ブレーキスイッチ機能が有効に動作しているかを確認してください。
ブレーキスイッチが作動しているときは、ブレーキライニングとブレーキドラムに隙間があり
確実にブレーキが開放していることを確認してください。

- ③-2 下記の表3-3、3-3-1に記載しています巻上機のブレーキは、要改善ブレーキに該当しません。
安全確保のため、プランジャーストロークの測定をおこない、管理値内であるか確認してください。

巻上機型式	プランジャーストローク 検査判定	初期stroーク	(mm)	
			要調整値 (A-B)	交換時期 (A-B)
SHG-500	構造上対象外	1.0~3.0	4.0	5.0
SHG-500-2A	構造上対象外	1.0~3.0	4.0	5.0
SKE-500	構造上対象外	1.0~3.0	4.0	5.0
SKE-750	構造上対象外	1.0~3.0	4.0	5.0
SKE-1000A	構造上対象外	3.0~7.0	8.0	9.0
SKE-1500A	構造上対象外	3.0~7.0	8.0	9.0
SKE-2000A	構造上対象外	3.0~7.0	9.0	12.0
SKE-450F	構造上対象外	1.0~3.0	4.0	7.0
SKED-500	構造上対象外	1.0~3.0	4.0	5.0
SKE-600F	構造上対象外	1.0~3.0	4.0	5.0
SKE-750F	構造上対象外	1.0~3.0	3.5	4.5

表3-3

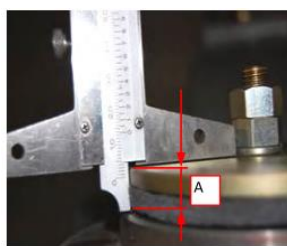
巻上機型式	プランジャーストローク 検査判定	初期stroーク	(mm)	
			要調整値 (A-B)	交換時期 (A-B)
SKE-800F	構造上対象外	1.0~3.0	3.5	4.5
SKE-850F	構造上対象外	1.0~4.5	6.0	9.0
SKW-1300F	構造上対象外	1.4~1.6	2.0	3.5
SKW-1500F	構造上対象外	1.4~1.6	2.0	3.5
SKW-3000FS	構造上対象外	1.4~1.6	2.0	3.5

表3-3-1

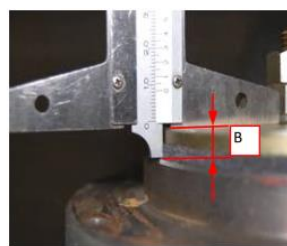
※ SHGシリーズ・SKEシリーズ測定箇所



写真5 : カバー取り外し

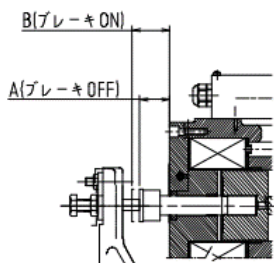


ブレーキON(ブレーキ電源OFF)



ブレーキOFF(ブレーキ電源ON)

※ SKWシリーズ測定箇所

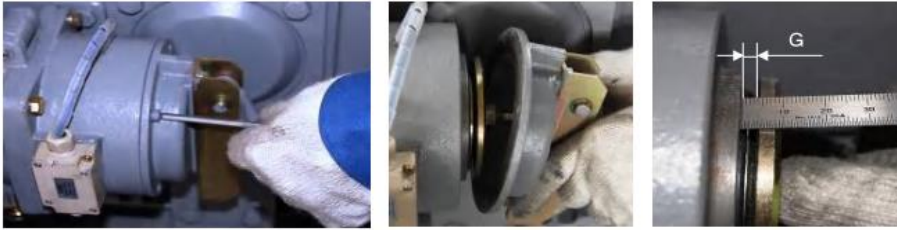


- ③-3 下記の表3-4に記載しています巻上機のブレーキは、要改善ブレーキに該当しません。安全確保のため、下記要領でプランジャーストローク及び制動スプリングの測定をおこない、管理値内であるか確認してください。

巻上機型式	プランジャーストローク 検査判定	stroーク 要調整値(G)	stroーク 基準値(G)	スプリング 設定値(A)
SHR-600	構造上対象外	4.5mm以上	3.5mm以下	3.7Kw 23mm
				5.5Kw 19mm
SHR-900	構造上対象外	4.5mm以上	3.5mm以下	5.5Kw 19mm
				7.5Kw 17mm
SHR-2000	構造上対象外	4.5mm以上	3.5mm以下	24mm

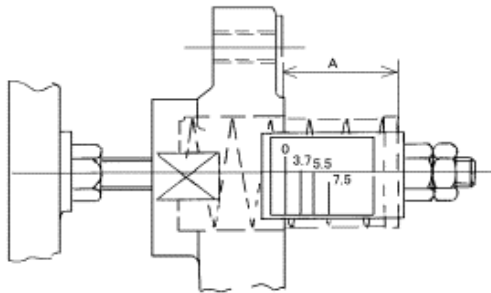
表3-4

※ G寸法測定箇所



M6六角穴付ボルト4本を取り外して、コイルケースカバーを外します。
 ケース端部とカバープレートの隙間Gが4.5mm以上になっている場合は3.5mm以下に調整が必要です。

※ 制動スプリング測定箇所



- ③-4 下記の表3-5、3-5-1に記載しています巻上機のブレーキは、要改善ブレーキに該当しません。安全確保のため、制動スプリングの設定長を測定し、指定長であるか確認してください。設定長以下であった場合は、指定長に設定してください。

巻上機型式	プランジャーストローク 検査判定	モーター 容量	バネ自由長 (mm)	バネ設定長 (mm)	バネ圧縮量 (mm)	ブレーキトルク (125%)N・m
KTM-30F	構造上対象外	3.7Kw4P	100.0	94.3	5.7	30.45
		5.5Kw4P		91.5	8.5	45.26
KTM-32F	構造上対象外	3.7Kw6P	180.0	170.3	9.7	46.47
		4.5Kw6P		168.2	11.8	56.52
KTM-35F	構造上対象外	5.5Kw4P	65.0	59.8	5.2	45.26
		7.5Kw4P		57.9	7.1	61.71
		11Kw4P		54.5	10.5	90.51
		5.5Kw4P	95.0	86.1	8.9	45.26
		7.5Kw4P		82.8	12.2	61.71
		11Kw4P		77.1	17.9	90.51
KTM-42F	構造上対象外	5.5Kw4P	180.0	171.6	8.4	45.26
		7.5Kw4P		168.6	11.4	61.71
		11Kw4P		163.3	16.7	90.51
KTM-45F	構造上対象外	7.5Kw4P	115.0	109.9	5.1	61.71
		11Kw4P		107.5	7.5	90.51
		15Kw4P		104.8	10.2	123.43
		18.5Kw4P		102.4	12.6	152.23
KTM-60F	構造上対象外	7.5Kw4P	115.0	109.9	5.1	61.71
		11Kw4P		107.5	7.5	90.51
		15Kw4P		104.8	10.2	123.43
		18.5Kw4P		102.4	12.6	152.23

表3-5

※ブレーキスイッチスイッチが装着されていない巻上機が対象です。ブレーキスイッチが装着されている場合ブレーキスイッチが正常に作動していることを確認してください。

巻上機型式	プランジャーストローク 検査判定	モーター 容量	バネ自由長 (mm)	バネ設定長 (mm)	バネ圧縮量 (mm)	ブレーキトルク (125%)N・m
KTM-30FB	構造上対象外	3.7Kw4P	45.0	40.0	5.0	30.45
		5.5Kw4P		37.6	7.4	45.26
KTM-38FB	構造上対象外	5.5Kw4P	65.0	60.3	4.7	45.26
		7.5Kw4P		58.5	6.5	61.71
		11Kw4P		55.5	9.5	90.51
		5.5Kw4P	95.0	86.9	8.1	45.26
		7.5Kw4P		83.9	11.1	61.71
		11Kw4P		78.8	16.2	90.51
KTM-50FB	構造上対象外	7.5Kw4P	100.0	95.9	4.1	61.71
		11Kw4P		94.0	6.0	90.51
		15Kw4P		91.7	8.3	123.43
		18.5Kw4P		89.8	10.2	152.23
		11Kw8P		87.4	12.6	187.50
KTM-60FB	構造上対象外	7.5Kw4P	100.0	95.9	4.1	61.71
		11Kw4P		94.0	6.0	90.51
		15Kw4P		91.7	8.3	123.43
		18.5Kw4P		89.8	10.2	152.23
		11Kw8P		87.4	12.6	187.50
KSM-160	構造上対象外	2.2Kw4P	35.0	29.6	12.0	18.10

表3-5-1

※ブレーキスイッチスイッチが装着されていない巻上機が対象です。ブレーキスイッチが装着されている場合
ブレーキスイッチが正常に作動していることを確認してください。

4、緩衝器等の作動状況

- ① 著しい損傷または腐食がないか、定期検査業務基準書に従い検査を実施してください。
油量が適量であるか、油漏れはないか、確認をしてください。

油量は表4-1で確認をしてください。

メーカー	型式	油粘土グレード	油量(L)
川楽	OB-01	ISO VG32	0.5
	OB-013		2.3
	HYC-105M-SV		1.15
OLEO	LSB16.B	ISO VG68	0.88
	LSB18.B		1.03

表4-1